

【小学校道德の時間における活用案】

第6学年「郷土の偉人 高木兼寛」における活用について

～ 基本的な考え方 ～

本案は、小学校学習指導要領道德の内容〔第5学年及び第6学年〕2-(2)を受けて構成されており、思いやりの心をもって、相手の立場に立って行動しようとする心情を育てるため、「ひむか学」ホームページを活用する基本的な流れを示している。

主なねらいは以下のとおりである。

- ・ わが国の医学の進歩に貢献した高木兼寛の生き方を知り、誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとする心情を育てる。

本案は、「高木兼寛」における事例であるが、それぞれの地域や学校の実態に応じて、取り扱う人物の選定を行う。

読み物資料は、「宮崎県小学校道德教育用 郷土資料集 平成9年3月 宮崎県教育委員会」による。

学習の流れ		「ひむか学」ホームページの活用例	
導 入		ページ	活用とねらい
		ひむか学の教材名	
	1 高木兼寛の主な業績を知る。	高木兼寛	・ 高木兼寛の「どんな人だったんだろう」を視聴し、兼寛の業績の概要を知る。
展 開	2 資料「高木兼寛」を読み、話し合う。 ・ 医者にみてもらえない貧しい人たちを見て、兼寛は、どんな気持ちだったでしょう。 ・ 西へ東へ歩き回って、病院を経営するための援助を求めているときの兼寛はどんな気持ちだったでしょう。 ・ 治療を受けられるようになって喜ぶ人々を見て、兼寛はどんな気持ちだったでしょう。		
	3 思いやりの心をもって、人に親切にすることについて、今までの自分を振り返る。		
終 末	4 人にために尽くした郷土の偉人を知る。 ・ 石井十次	石井十次	・ 石井十次の業績についての説明後、「なわの帯」のVTRを視聴する。

【読み物資料】

～ ビタミン B 1 の世界的権威 ～

高 木 ^{かね} 兼 ^{ひろ} 寛

明治の初めのころです。

「先生、からだがだるく、足がむくんで歩けないんです。」

と訴えてくる患者が多く、医者にもその病気を治す方法が分からず、困りはてていました。この病気は、「脚気病」といってひどくなると命をなくすこともありました。

この病気の原因がビタミン B 1 の不足によるものだと世界で初めて発見し、食事の工夫によって治ることを証明した人物こそ宮崎県出身の高木兼寛なのです。

兼寛は、今の東諸県郡高岡町穆佐に生まれました。七歳のころから中村敬助という先生のもとで人間としての生きる道を学びました。また、この地には、多くの村人から尊敬され、慕われていた黒木了輔という医者がありました。少年兼寛は、小さいながらも心ひそかにこの了輔にあこがれ、（ぼくもりっぱな医者になって、みんなの命を救いたい。）と心に決めていました。その時彼は、十三歳でした。

十七歳の時、鹿児島で医学の基礎を学び、二十四歳で海軍省に入って、海軍病院で働くことになりました。四年後、政府の命によりロンドンのセント・トーマス病院学校に留学して西洋医学を学び、数多くの実績を上げ六年後に帰国しました。

帰国後の兼寛は、海軍省の乗組員に広がっていた脚気病の絶滅に全力を注ぎました。しかし、兼寛がいちばんきになっていたことは、人々の中には、いまだに医者にみてもらえずに苦しんでいる人が、たくさんいるということでした。

「まったく何ということだ。数多くの人々が苦しんでいるのに、それを助けようとする人が本当に少ない。何としてもイギリスなみに立派な病院をつくり、今まで医者にみてもらえなかった人々を助けたいものだ。」

と考えるようになりました。

そこで、三十五人の仲間たちとともにお金を出し合って、有志共立東京病院（現在の東京慈恵会医科大学病院）を設立しました。

やがて、病院の評判が広がり、病院の前には長い列ができるようになりました。

しかし、残念なことに病院を経営していくだけのお金が足りなくなってしまいました。頭を悩ませた兼寛は、当時の政府に資金の援助を願い出しました。しかし、なかなか説得しきれず月日だけが流れていきました。

不安とあせりの中で、兼寛はすっかりまいってしまい、この仕事を投げ出したくなってしまいました。しかし、兼寛は、日本に帰ってきたころのことを思い出し、決意を新たにするのでした。そして弱気になりつつある仲間に向かって、

「今は苦しいが、ここでくじけたら、また、たくさんの人々が病気に苦しむことになる。何とかしてがんばろう。」

とはげますのでした。

そして、自分の足で毎日、西へ東へ歩き回って、ついにいろいろな人たちからの募金協力や援助を得ることに成功したのです。これは、兼寛の熱意が人々に通じたからでしょう。おかげで、多くの人々が進んだ治療を受けることができるようになったのです。

彼の残した様々な業績は、今も世界各地で脈々と生きているのです。